

## 志賀原子力発電所 1号機 運転再開について

平成18年11月22日  
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所 1号機（沸騰水型、定格電気出力 54万キロワット）は、発電機コレクタリング冷却ファン点検のための停止中に、ケーブルコネクタを有する機器の接続状態の点検と主要な計器の指示値が適正であるか確認を行ってきました（11月14日お知らせ済み）が、本日、これらの点検が完了しました。

その結果、ケーブルコネクタの接続状態に問題のないことを確認しました。

また、計器については、指示値が実際の値よりわずかに高いものが1件あり、速やかに適正な指示値になるように校正するとともに、今回の点検において確認された計器仕様表の誤記等についても併せて修正していきます。

今後、原子炉起動の準備を行い、原子炉を起動します。

以上

添付資料：ケーブルコネクタの接続状態及び主要な計器の点検結果

## ケーブルコネクタの接続状態及び主要な計器の点検結果

### 1. ケーブルコネクタの接続状態の点検

志賀原子力発電所1号機のケーブルコネクタを有する機器853台について、接続状態を点検し、問題のないことを確認しました。

### 2. 主要な計器の指示値の適正確認

志賀原子力発電所1号機の原子炉施設保安規定に定める監視に用いている計器680台及び定期検査の判定に用いている計器1096台について確認した結果、計器の指示値が実際の値よりもわずかに高いものが1件ありました。その他の計器については、すべて指示値が適正であることを確認しました。

この1件は、非常用ガス処理系の出口流量計(許容誤差約4.2 m<sup>3</sup>/h)の指示値が実際の値より1.72%高く指示していたものです。このことにより、運転試験時の実際の流量は、当社が定めた判定基準1700 m<sup>3</sup>/hをわずかに(最大2.9 m<sup>3</sup>/h)に下回った場合があります。

この計器については、適正な指示値になるように校正し、非常用ガス処理系の確認運転を行い、流量が適正であることを確認しました。

なお、今回の点検において確認された計器仕様表の一部の誤記等についても併せて修正していきます。

以上

### 非常用ガス処理系：

万一、原子炉建屋内に放射性物質が漏えいした場合、これをフィルタで除去し、建屋外への放出を防止する装置。